

平成19事業年度

決 算 報 告 書

自：平成19年 4月 1日

至：平成20年 3月31日

国立大学法人東北大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	51,899	51,899	0	
施設整備費補助金	5,440	6,244	804	(注1)
補助金等収入	648	2,394	1,746	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	141	141	0	
自己収入	34,407	41,343	6,937	
授業料、入学料及び検定料収入	10,324	10,319	△ 5	(注3)
附属病院収入	23,716	26,368	2,652	(注4)
財産処分収入	0	3	3	
雑収入	367	4,653	4,287	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,063	21,122	6,060	(注6)
引当金取崩	0	74	74	
長期借入金	2,413	2,413	0	
承継剰余金	0	19	19	(注7)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	1,500	492	△ 1,008	
計	111,511	126,141	14,630	
支出				
業務費	69,702	72,043	2,341	(注8)
教育研究経費	47,906	47,034	△ 872	
診療経費	21,796	25,009	3,213	
一般管理費	13,247	15,252	2,005	(注9)
施設整備費	7,994	8,559	565	(注10)
補助金等	648	2,348	1,700	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	15,063	14,656	△ 406	(注12)
長期借入金償還金	4,857	4,897	40	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	111,511	117,756	6,245	
収入-支出	0	8,385	8,385	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、アスベスト対策事業及び総合研究棟改修(材料・物性系)事業の前年度からの繰越により、予算額に比して決算額が981百万円多額となっています。また、化学棟改修事業の繰越により、177百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、研究拠点形成費等補助金(グローバルCOE)、国際研究拠点形成促進事業費等の預り補助金の受入により、予算額に比して決算額が1,746百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の増により、34百万円多額となっています。また、在学者数、受験者数の減により、授業料、検定料収入が39百万円少額となっています。

(注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上及び手術件数の増等により予算額に比して決算額が2,652百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、科研費等補助金、預かり補助金間接経費の受入により、予算額に比して決算額が2,628百万円多額となっています。また、特許権実施料等収入により1,117百万円、地下鉄事業に伴う物件移転補償等収入により93百万円、予算額に比して決算額が多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が産学連携等研究収入において1,377百万円、寄附金収入においては866百万円多額となっています。なお、前年度繰越に係る支出額3,706百万円を同額計上しています。

(注7) 承継剰余金については、賠償金等の支払により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。

(注8) 業務費については、病院収益の増加により、予算額に比して決算額が3,213百万円多額となっています。

(注9) 一般管理費については、補助金等間接経費の支出により、予算額に比して決算額1,707百万円多額となっています。

(注10) 施設整備費については、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が565百万円多額となっています。

(注11) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,700百万円多額となっています。

(注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金の繰り越し等により、予算額に比して決算額が406百万円少額となっています。